

対 策 名		空調機器のフィルタを低圧損型に変更
対 策 タ イ プ	設備導入	
対 象 業 種	共通要素設備	
対 象 工 程 等	空調・換気設備	
対 象 技 術 の 概 要		<p>【目的】</p> <p>○セントラル空調における空調機のフィルタに、洗浄可能な低圧損のものを用いることで、送風ファン動力の増加を防止し、搬送用エネルギーの削減を図る。</p> <p>【概要】</p> <p>○セントラル空調における空調機のフィルタが汚れて目詰まりを起こすと、圧力損失が大きくなり、風量の低下やファン動力の増大をもたらす。</p> <p>○フィルタの圧力損失も、上記同様に風量の低下やファン動力の増大の要因である。</p> <p>○そのため、低圧損で洗浄可能なフィルタを採用し、定期的に清掃を実施することで、空調の搬送動力を削減させることができる。</p>
出 典	・「省エネ事例受賞概要集(製品部門)[製品部門]」一般財団法人 省エネルギーセンター	